NEWS RELEASE

一般社団法人　日本IR協議会
〒101-0047 東京都千代田区内神田1-6-6 MIFビル9階
Tel 03-5259-2676(代表) Fax 03-5259-2677 http://www.jira.or.jp

2026 年 10 月 15 日

経営トップが各種説明会に登壇する割合が増加

―　ＩＲ優良企業賞 2026　第１次審査の集計結果より　―

一般社団法人日本ＩＲ協議会（会長：手代木 功 塩野義製薬株式会社代表取締役会長兼社長 CEO）は現在、ＩＲ優良企業賞 2026 の審査を進めています。今年は、日本ＩＲ協議会の会員企業のうち 359 社がＩＲ優良企業賞 2026 に応募しました。

本リリースは、応募企業 359 社の「調査票」に基づく第１次審査の集計結果を参考までにご報告するものです。ＩＲ優良企業賞は、ＩＲの趣旨を深く理解し、積極的に取り組んでいる企業を表彰するもので、３段階の審査を経て決定します。最終審査の結果は、11 月中～下旬に発表する予定です。

【調査結果の概要】

（１）ＩＲのミッションに「企業・事業内容の理解促進」、「企業価値向上・創造」を挙げる企業が増加

応募調査票の Q1 に、「会社としてＩＲのミッションや目標を設定し、明文化していますか」という問いを設けている。「はい」の回答は応募企業 359 社中 355 社で、割合は 98.9%に達した。具体的な目標として 15 ある選択肢（複数選択）のうち最も高い割合を占めたのは「企業・事業内容の理解促進」で 97.5%（346 社）となった。次いで「企業価値向上・創造」が 97.2%（345 社）となり、こちらは前年の 92.6%から 4.6 ポイント上昇した。前回から 5 ポイント以上の変化があったのは「企業イメージの向上」(+5.3)、「個人株主数の増加」(+6.8)、「資金調達コストの低減」(+7.3)、「海外投資家持株比率の増加」(+7.7) だった。

（２）経営トップが各種説明会に登壇する割合が増加

経営トップ（社長または CEO に該当する経営者）が各種ＩＲ活動にどの程度関与しているのかをたずねた。「国内での決算説明会」や「国内でのアナリスト・投資家との面談」には引き続き高い出席率となった。「個人投資家向け説明会」(34.8%→39.3%)や「国内での説明会（事業説明会、IR Day、ESG 説明会など）」(39.6%→43.2%)については、割合はそれほど高くないものの、登壇率は年々上昇傾向にある。

（３）コーポレートガバナンス・コード改訂に伴う具体的な対応も進む

「コーポレートガバナンス・コード（CG コード）の改訂により、実効的な企業統治体制を整えることが求められていますが、貴社では継続して体制整備や情報開示・対話などの充実に取り組んでいますか」（Q17）については「取り組んでいる」の回答割合が 100%だった。CG コードの改訂を踏まえた具体的な取り組み内容については各種グラフの通り。

（４）各事業部門との協力体制の構築も進む

「各事業部門はＩＲ活動に協力していますか」（Q40）で「はい（協力している）」が 100%の回答となった。また「ＩＲ部門は、他部署が企業価値向上に関心を持ち、ＩＲに関与することを目的にした研修や勉強会、報告会を行っていますか」（Q41）のにおいても「はい（行っている）」の割合は 82.5%（前回 79.2%）だった。特に、事業部門の競争力や事業ポートフォリオの強みを分かりやすく伝える工夫において、協力を得やすい体制が構築されている。

（５）ＩＲ活動において強調したい点、昨年度と比べて力を入れた点

ＩＲ活動において注力した点については、「ＩＲデイ、現場・施設見学会、事業説明会(予定含む)」に取り組んだ企業が多かった（25.9%→39.6%）。注目を集めている事業や、経営戦略説明会などを開催する企業が増加したことが背景。次いで「ＩＲ取材対応、スモールミーティング・面談強化（件数増加、内容補強）」の割合が 36.2%だった。また「投資家面談に社長（CEO）が参加」は 15.4%→21.2%、「カバレッジの強化、スポンサードレポートの導入」が 2.7%→8.4%とそれぞれ増加した。

本件に関するお問い合わせ
一般社団法人　日本ＩＲ協議会
電話：03-5259-2676　　FAX：03-5259-2677　　URL：https://www.jira.or.jp/

＊日本ＩＲ協議会とは：1993 年設立。ＩＲの普及を目的とする非営利団体。2026 年 10 月１日現在の会員数は 738 社で、研修活動、情報発信活動などを行っている。2010 年４月１日より一般社団法人へ移行。